

保谷小教育目標
すすんで学ぶ子
助け合う子
元気な子

保小だより



NO. 418・10月号 西東京市立保谷小学校

平成28年9月30日

保谷小ホームページ <http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houya/>

継続は力なり。さらに一步前へ

校長

高野 富

「校長先生、僕と踊ってくれますか。」「もちろん、ありがとう。」移動教室2日目、キャンプファイヤーでの6年生と私のやりとりです。日光東照宮見学、銅(あかがね)親水公園で昼食、赤城青少年交流の家での野外炊事を終え、疲れ切っているはずの子供たちと教員。公共施設のため自分たちに与えられた時間は45分間だけ。そのような中で声を荒げることも無くすべて行程をやりきった6年生に、改めて保谷小学校の実力を感しました。

さて、冒頭から子供たちの自慢話お許しください。校長として保谷小学校の子供たちを育ててくださる保護者や地域の皆様、各諸機関方々へ感謝の気持ちをお伝えしたいのです。

ありがとうございます。28年度の教育活動も後半に入ります。本年度前半の成果をお伝えいたします。

教育目標

① すすんで学ぶ子

高学年が実施しました、全国・東京都教育委員会の各種調査結果をお知らせいたします。6年生の国語・算数、5年生の国語、社会、算数、理科すべてにおいて、平均を3から8ポイント近く高まっていました。また、学習の理解を充分出来ている子供の割合が多くなっていました。家庭学習、個別指導、授業改善等、粘り強く取り組んできた効果があらわれています。保護者の皆様のご協力感謝いたします。ただ、国語の「書く」項目は、平均を少し下回っています。学校全体の課題がはっきりしましたので、今後、自分の思いを文にまとめる等の取り組みを全校で行うことが必要と考えます。

② 助け合う子

年齢の異なる子供たちと出来る限りの体験的学習を取り入れています。細かいトラブルはありますが、子供たちが助け合いながら日々解決しています。さらに前進させるために兄弟学年の挨拶運動本格的に始めます。保小まつり(その2)等これからも子供たちの心を豊かに優しくするための活動を多く取り入れます。また、地域の方にご指導いただく活動を多く取り入れます。ご理解いただきご協力を御願いたします。

③ 元気な子

全学年で取り組みました東京都児童体力・生活・運動習慣調査の結果が手元に届きました。各学年9種目の中で大半が都の平均を上回っています。昨年度はどの学年も大半が平均に届きませんでした。週3回の業間体育、外遊びの推進、体育授業時間の運動量の確保等、地道な取り組みが成果を見せ始めました。ただ、学年毎に平均を下回る項目がありますので効果的な運動を取り入れます。そして、ひとりひとりに、体を動かす楽しさを味わせ、生涯にわたり運動していく子供たちを育てたいと思います。

10月31日(月)午後研究報告会を行います。これは教員だけでなく、学校の取り組みを広く保護者、地域の皆様に知っていただくための会です。公開授業の後、協議会も参観出来ます。詳しいご案内を後日配布いたします。是非、ご参加ください。

「継続は力なり。さらに一步前へすすみます。」ご期待ください。

校内研究の取組

9月7日（水）に「かけ算の筆算（1）」の研究授業を行いました。

6月に実施した算数に関するアンケートを集計した結果、概ね意欲的に学習していること、9割近くの児童が算数の学習が楽しく、学習内容も理解していることが分かりました。しかし、下記のような課題があることも分かりました。

- ① 式や言葉や図を使って、自分の考えを書くこと
- ② 前に学習したことを基に課題を解決していくこと
- ③ 算数用語を使って、人前で説明すること

そこで、教室の壁面に、2年生の「かけ算」や3年生の1学期の「九九を見なおそう」で学習したことを掲示し、振り返ることができるように工夫しました。算数では、前の時間までに学習したことを基にして自分の考えを書いていきます。すると、「あれ？」と鉛筆が止まります。そこが、新しく学習する課題となります。子どもたちには、『「あれ？」と思ったら、そこが今日の課題であること』『「あれ？」と思った部分を工夫することが学習で大切なこと』の二つを伝えながら学習を進めています。

当日は、どの子も大変意欲的に自分の考えを書いたり、自分の考えを発表したりすることができました。子どもたちが意欲的に学習する姿は、私たち教師にも大変励みになります。子どもたちに「算数は楽しい」「考えることが楽しい」と思ってもらえるように、学年と少人数の教師が連携し、日々の授業を工夫し実践しています。

詳しいことは、10月31日の研究発表会で説明させていただく予定です。ぜひ、ご来校下さい。

代表委員会の取組

「その一言で。」

「須田先生、おはようございます。」6年生の男の子がさわやかな声で、あいさつをしてくれました。先日のことです。担任をしていない他の学年の子から言われたことも嬉しかったのですが、その一言は私をとて元気にしてくれました。その時、言葉には大きな力があると、再び実感させられました。

今から1300年程前、万葉の昔から人々は、言葉の使い方によって幸せと不幸せを左右する「言葉のもつ不思議な力＝言霊」を信じていたようです。良い言葉を発すると良いことが起こり、不吉な言葉を発すると悪いことが起こるという「言霊信仰」です。この考え方は、多かれ少なかれ、現在の私たちの生活の中でも生きています。

私たちは日頃、様々な人と会話をしています。会話の中のほんのちょっとした一言で相手を勇気付けたり、反対に悲しい気持ちにさせてしまったりという経験は誰にでもあることです。悲しい気持ちにさせようと思って話をしているのではなく、それ程意識しないで一言一言を発しているからではないでしょうか。

時には意識して「一言」が持つ意味の大きさ、深さを感じたいと思います。「一言」には、相手への心が表れるものです。子どもたちもけんかや言い争いを通して、してはいけないこと、言ってはならないこと等、多くのことを学んでいきます。と同時に「一言の言葉の重み」を学びます。学校でも、互いの気持ちを思いあえる言葉遣いができるように指導していきます。

そのきっかけとして「あいさつ運動」を位置付けています。その一言が人を元気にすることができるということを実感してもらいたいです。そして、元気で溢れる学校を目指していきます。

代表委員会

代表委員会では、ペットボトルキャップ・古切手などの回収や、行事の司会進行などを行っています。特に今は「笑顔と元気と愛さつと」というスローガンを決め、全校であいさつ運動に取り組んでいます。

放送委員会

放送委員会では、朝、そうじ、帰りの時間に放送をしたり、朝会の音楽やマイクの準備をしたりします。私たちは、放送を聞いてくれている人たちに時間がしっかりと伝わるように意識しながら委員会活動を行っています。

運動委員会

運動委員会では、主に週に一回外の体育倉庫や体育館倉庫の点検、石灰の袋の数の確認などを行っています。また、保谷小学校のみんなの体力が上がるように、「業間体育」も行っています。

図書委員会

図書委員会では、1・2・3年生への本の読み聞かせ、おすすめの本のポスター作り、休み時間の本の貸し出しなどを行っています。年に2回ある読書月間の読んだ本のページ数の集計も行っています。

給食委員会

私たち給食委員会は、中休みに栄養黒板にその日の給食の材料をはったり、給食中の放送で使う原稿を書いたりしています。給食中には放送でちょっとメモを読んだり、クイズを出したりしています。

保健委員会

保健委員会では、石けんやトイレットペーパーの点検・補充をします。前期の委員会では、集会で食物アレルギーについて発表し、安全に気をつけて給食が食べられるように呼びかけました。

校内美化委員会

校内美化委員会では、週に一回学校のそうじ用具入れの点検や整理などを行っています。そのほかポスターなどで校内美化の呼びかけをしたり、じゃ口の向きを直したりなど、ささいなことにも目を向けるようにしています。

芝生栽培委員会

芝生栽培委員会では、芝生をうえかえたり、花壇のお花をクラスごとに育てるなど、いろいろな仕事をしています。学校中が明るく、暮らしやすいように、日々努力しがんばっています。

10月 行事予定表			10月の生活目標 その場にあった言葉遣いをしましょう		
日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	土	都民の日	16	日	
2	日		17	月	全校朝会 クラブ活動⑥
3	月	全校朝会 委員会活動 秋の読書月間(始) 新1年生対象学校公開(始)	18	火	
4	火	安全指導 歯科検診	19	水	5時間授業
5	水	ALT	20	木	社会科見学(5)
6	木	自転車教室(3, 4)	21	金	
7	金	芝生養生開始(11/4まで半面ずつ)	22	土	
8	土		23	日	
9	日		24	月	全校朝会 歯科指導(2) クラブ活動
10	月	体育の日	25	火	4時間授業
11	火	全校朝会 ALT	26	水	遠足(1, 2) ALT
12	水	4時間授業	27	木	
13	木	避難訓練	28	金	
14	金	新1年生対象学校公開(終)学校説明会	29	土	
15	土		30	日	
			31	月	学校公開日 秋の読書月間(終)

※(11月の予定) 11月17日(木)は、校内研究実施の為、5年生は5校時まで、他の学年は4校時までとなります。

2年生 学年の取組

教室に夏休みの自由研究作品を並べた始業式の日。工作、手芸、旅行記、調べたものをまとめたレポートやポスター…。友達作品に興味深げにながめたり、「先生、見て！すごいよ！」と教えてくれたりと、お互いの作品に心を動かしている2年生の子供たちの様子がとてもほほえましいものでした。

クラスの中で見合うだけではもったいないので、学年でも見せ合うことに。お互いのクラス作品を15分ずつじっくりと見て、心に残った作品について感想を書きました。

そして9月の生活科の学習、「うごく、うごく、わたしのおもちゃ」。動く仕組みを工夫して、一人一人がおもちゃを作りました。はじめに設計図を書き、材料を集めて作ります。途中で、これではうまくいかないな、やっぱりここはこうしよう…。とよりよいものにするために変更をしながら作り、制作途中でついで遊びたくなるほど魅力的なおもちゃができました。

こちらも、お互いのクラスを行き来して、自分にはなかった発想に驚いたり、感心したり、おおいに刺激合っていました。次に何かを作るときに、記憶の底に残っているたくさん友達作品からヒントを得ることもあることでしょう。

これからも、どの教科でも、また、学習以外の生活の中でも、友達から学びお互いに高め合っていく機会を作っていきたいと思います。

